

議論のポイント

1. 調査の目的について

調査の対象とするアウトカム

- ・発達障害
- ・精神神経発達障害
- ・免疫への作用：小児アレルギー（アトピー、小児ぜん息等）
- ・内分泌への作用

調査対象となる要因

環境要因 ・化学的要因（化学物質のばく露）

POPs（残留性有機汚染物質）、ダイオキシン類（臭素系含む）、PCB、水銀、鉛、ヒ素、カドミウム、ベンゼン、有機フッ素化合物（PFOS, PFOA）、内分泌かく乱作用を有する物質 等

- ・生物的要因（病原体等）
- ・物理的要因（気象、騒音等）
- ・社会的要因（家族、経済、生活習慣等）

宿主要因（遺伝等）

2. 調査の具体的内容について

調査の期間について（何歳になるまでフォローすべきか）

調査規模について（調査対象人数、調査地域）

調査の実施体制について

全体とりまとめ、各地域へのアプローチ、対象者リクルート、調査実施施設、試料分析

調査の方法

アンケート調査

生体試料の採取

胎児期：母親の血液、臍帯血、出生児の血液

乳児期：母乳

食事調査（胎児期、小児期）

生活環境の実態調査

身体発達チェック、精神神経発達チェック

生体試料の保管について（バンキングの施設、方法）

生体試料の解析について

解析項目

解析の時期

収集したデータの取り扱いについて

倫理面への配慮

疫学調査から得られた知見の公表方法（一般国民向け、論文、学会等）

海外の出生コホート調査との連携

< 議論の進め方について >

- | | |
|--------|-----------------------|
| 第1回検討会 | 1．調査の目的について |
| 第2回検討会 | 1．調査の目的について、海外の事例紹介 |
| 第3回検討会 | 2．調査の具体的内容について |
| 第4回検討会 | 2．調査の具体的内容について 報告書目次案 |
| 第5回検討会 | 報告書原案提示 |